

たしかめプリント【小学校三〜四年生】



年 組 番 名 前

1

次の一と二のことわざの意味を、1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル7

一「石の上にも三年」

- 1 何事もやってみないと、よさが分からないこと。
- 2 あることが得意な人でも、失敗することがあること。
- 3 住み慣れると、そこが一番暮らしやすくなること。
- 4 しんぼう強くやれば、よい結果が得られること。

1の一

レベル5

二「急がば回れ」

- 1 その人のためになる注意は、なかなか聞き入れられにくいこと。
- 2 ていねいに取り組んでも、いっこうに手ごたえがないこと。
- 3 時間がかかっても、安全で着実な方法を選ぶほうがよいこと。
- 4 何事も用心に用心を重ねて取り組むことは難しいこと。

1の二

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

レベル8

一 「五十歩百歩」

- 1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。
- 2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。
- 3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことでは、五十歩百歩だ。

レベル8

二 「百聞は一見にしかず」

- 1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということが出来る人だ。
- 2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。
- 3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

2の一

2の二

次の【文章の一部】の——部の言葉の意味を、国語辞典を使って調べます。——部の「はかる」の意味は、あとの【国語辞典の一部】の1から4までの中のどれに当たりますか。一つ選んで、その番号を書きましよう。

【文章の一部】

小学生の運動習慣の調査によると、体育の授業以外では、運動をほとんどしない小学生が多いことが分かった。このことから、小学生が運動をする機会の増加をはかる必要があると考える。

（内容が続く）

【国語辞典の一部】

は

- 1 はかる【計る】（動）時間・温度などを調べる。例 タイムを計る。
- 2 はかる【測る】（動）長さ・高さ・広さなどを測定する。例 身長を測る。
- 3 はかる【量る】（動）重さ・分量などを調べる。例 体重を量る。
- 4 はかる【図る】（動）いろいろと考えて計画する。例 解決を図る。

1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 降^アっていた^イ雨^ウが、急^エにやんだ。

2 ぼく^アの妹^イの誕^ウ生^エ日は、五月二日だ。

4の二

4の一

1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型に当たりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

【文の型】

1 私は、国語の学習で感想文を書いた。

2 頂^ア上^イから見える景^ウ色^エは、すばらしい。

3 日本で一番高い山は、富士山だ。

ア 「何は（が）」 「何だ」

イ 「何は（が）」 「どうした」

ウ 「何は（が）」 「どんなだ」

5の一

5の二

5の三

次の**1**と**2**の言葉を、例の^{れい}のように、ローマ字でていねいに書きましょう。また、**3**のローマ字は、ひらがなでていねいに書きましょう。

(例) ^{れい} [いぬ] ⇨ inu

1 [りんご] ⇨ _____

2 [あさって] ⇨ _____

3 hyaku ⇨ []

次は、島田さんが一汁三菜のよさについて書いた【説明の文章の一部】です。*——部では、どのようなふうをして書いていますか。そのくふうを説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明の文章の一部】

昔から、日本の食事には「一汁三菜」というこんだてが取り入れられてきました。「一汁三菜」とは、主食のご飯に、汁物と三種類のおかずを組み合わせたものです。組み合わせることで、一度にいろいろな栄養素をとることができます。

* このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食のご飯からは主に炭水化物を、とうふとわかめが入ったみそ汁からは、たんぱく質と無機質をとることができます。さばの塩焼きからは主にたんぱく質を、かぼちやのにもときゅうりのすのもののからは、ビタミンをとることができます。

（文章が続く）



〈わが家の昨夜のこんだて〉

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事（ふくすうのじ）がら（きようつう）に共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問（ぎもん）を投げかけている。
- 3 自分が伝えたい（つた）ことをくわしく示す（しめ）ために、具体的な事例（ぐたいてきじれい）を取り上げている。
- 4 読み手を説得（せつとく）するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。